

平成27年12月15日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 JAしまね出雲WCS協議会主催の品質向上研修会を開催

(ダイジェスト)

本年7月に、出雲市内のWCS用稲生産者と、利用者と構成される「JAしまね出雲WCS協議会」(事務局JAしまね出雲地区本部、以下協議会)が設立され、WCS用稲の需給調整や品質向上に取り組んでいるところです。この度、12月10日畜産技術センターにおいて、協議会主催のWCS用稲の品質向上を目的とした研修会を開催し、生産者、利用者、関係機関約30名の参加がありました。

平成25年から、JAいずも(現JAしまね出雲地区本部)と出雲事務所が協力して、出雲市内のWCS用稲生産者を対象に、WCS用稲の品質向上を目指した研修会を開催しています。本年からWCS用稲生産者と利用者と構成された「JAしまね出雲WCS協議会」主催による品質向上研修会が12月10日畜産技術センターで開催され、生産者、利用者、関係者約30名の参加がありました。

研修会では、まず、9名(団体)の生産者が生産したWCS稲10ロールの品質を比較確認し、一番良いWCSを選び投票していただきました。それにより、刈取時期、品種等による品質差について、生産者、利用者が細かく確認されていました。

続いて、JAしまね出雲地区本部から、協議会の活動状況の報告があり、今年は109haの作付けで約8,000ロールの生産があったこと、次年度の利用も現在7,800ロールの申し込みがあることなどが報告されました。

次に、出雲事務所から3年間の品質向上の取組み内容や、今回のWCSの投票結果の報告を行いました。最後に畜産技術センターから、WCS用麦の取組みについて紹介がありました。

この研修会も今年で3回目となり、生産者も「より良いWCSを作らなければいけない」との意識が感じられました。また、今回は初めて利用者側からの参加もあり、生産者・利用者の意見交換もできました。

出雲事務所としては、WCSの品質向上を目指した普及活動を継続するとともに、耕畜連携を一層推進していくこととしています。



WCS稲の品質検討



出雲事務所の取組み報告

担当者	出雲南地域振興課	藤野浩紀	TEL0853-30-5593
-----	----------	------	-----------------